



Ubiquitous Solution Company

KDDI 株式会社

2009年3月期 第1四半期決算

2008年7月22日

この配付資料に記載されている業績目標及び契約数目標等はいずれも、当社グループが現時点で入手可能な情報を基にした予想値であり、これらは経済環境、競争状況、新サービスの成否などの不確実な要因の影響を受けます。

従って、実際の業績及び契約数は、この配付資料に記載されている予想とは大きく異なる場合がありますことをご承知おき下さい。

1. 第1四半期決算総括

1 連結ベース

- 営業収益は前年同期比+3.1%、営業利益は同 -11.7%の増収・減益。営業利益の通期見通しに対する進捗率は 28.1% と順調に推移。

2 移動通信事業

- 営業収益は前年同期比 +0.7 %、営業利益は同-8.0%の増収・減益。
- 6月末のauの契約数は3,030万で、累計シェア29.2%。
- より幅広いお客さまのニーズに応えるため、6月10日より「au買い方セレクト」の「シンプルコース」を拡充し、新シンプルプラン(料金)ならびに端末の分割払いを導入。

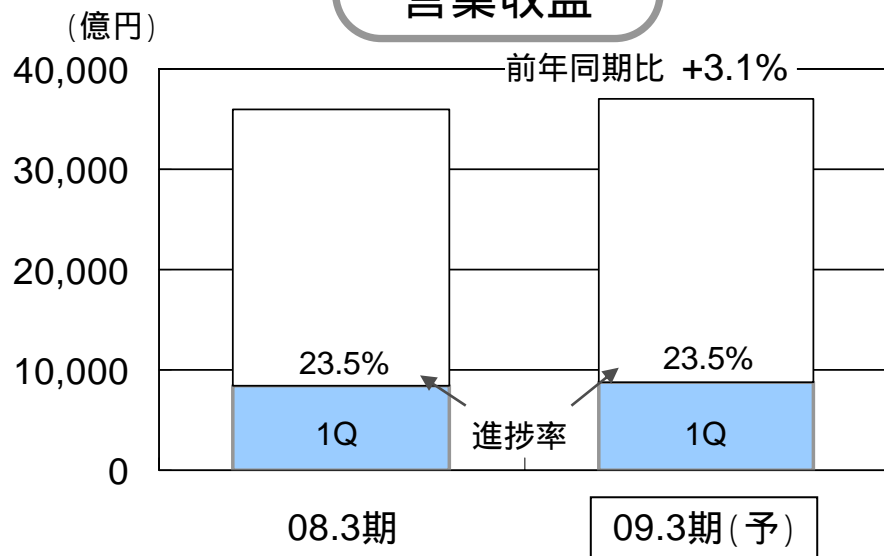
3 固定通信事業

- セグメント範囲見直しの影響もあり、営業収益は前年同期比+17.4%の増収。営業利益は149億円の赤字。
- 6月末の固定系アクセス回線は^注 508万。
- 中部テレコミュニケーション株式会社(CTC)を連結子会社化(4月1日)。

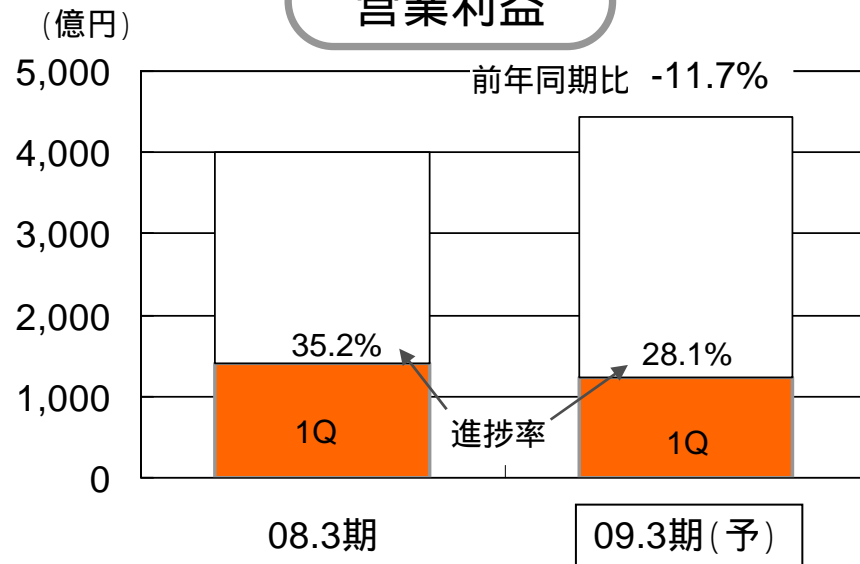
4 株式会社じぶん銀行が銀行営業免許を取得(6月17日)、7月17日にお客さま向けサービス開始。当社も通信事業者として初となる銀行代理業許可を取得(6月25日)、同行の預金口座開設に関する銀行代理業務を開始。

2. 連結決算

営業収益



営業利益

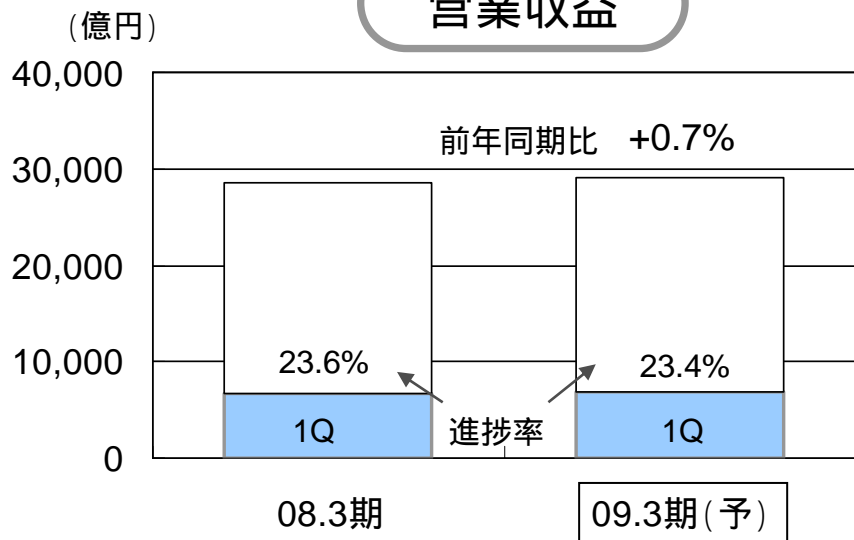


(億円)

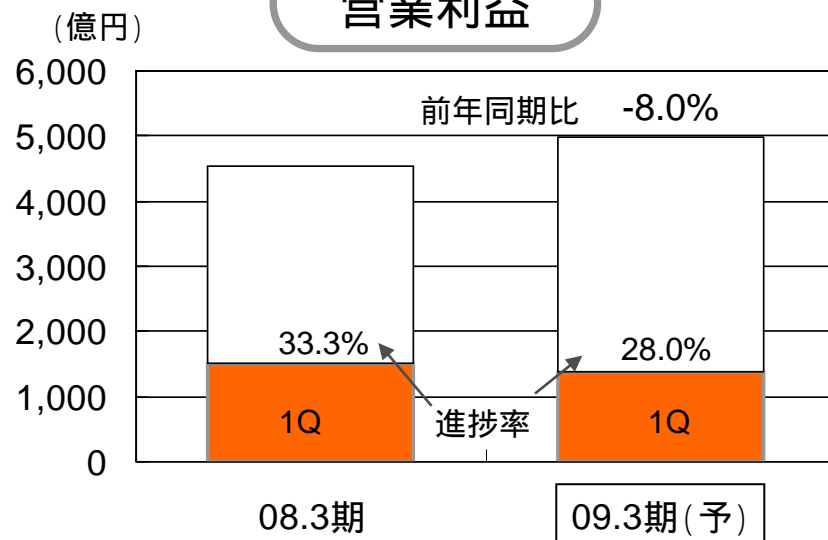
	08.3期		09.3期(予)			
	1Q		1Q	前年同期比	進捗率	
営業収益	8,441	35,963	8,705	3.1%	23.5%	37,000
営業利益	1,409	4,005	1,244	-11.7%	28.1%	4,430
マージン	16.7%	11.1%	14.3%	-	-	12.0%
経常利益	1,427	4,079	1,248	-12.5%	28.4%	4,400
当期純利益	825	2,178	725	-12.2%	29.0%	2,500
FCF	-605	-125	-749	-	-	-170
EBITDA	2,253	7,692	2,234	-0.8%	25.4%	8,810
マージン	26.7%	21.4%	25.7%	-	-	23.8%

3. 移動通信事業

営業収益



営業利益



(億円)

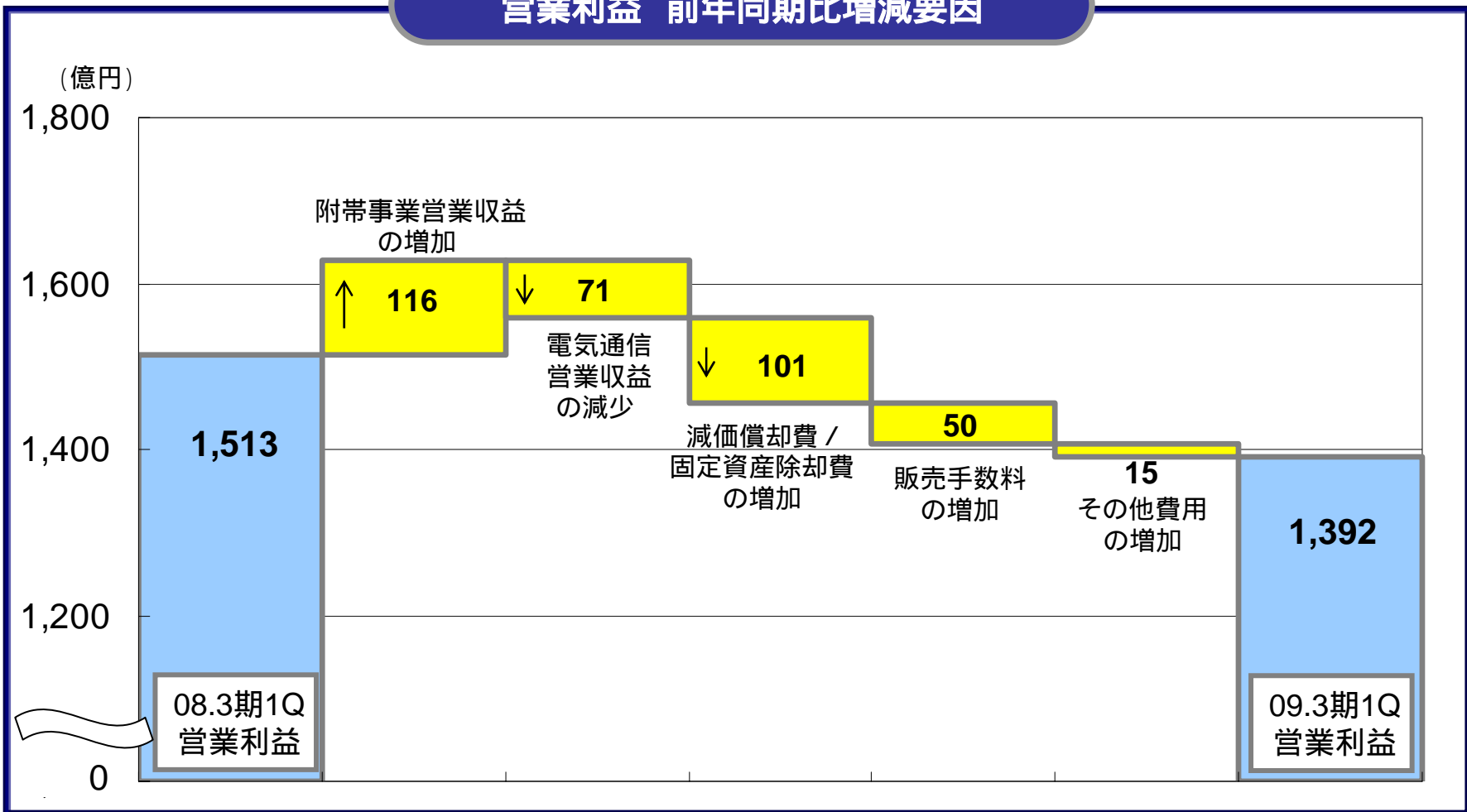
	08.3期		09.3期(予)			
	1Q		1Q	前年同期比	進捗率	
営業収益	6,748	28,626	6,798	0.7%	23.4%	29,110
au	6,700	28,517	6,798	1.5%	23.4%	29,110
ツーカー	48	109	-	-	-	-
営業利益	1,513	4,550	1,392	-8.0%	28.0%	4,970
マージン	22.4%	15.9%	20.5%	-	-	17.1%
経常利益	1,532	4,635	1,413	-7.8%	28.1%	5,030
当期純利益	882	2,665	828	-6.1%	28.3%	2,920
FCF	-286	824	-165	-	-	1,270
EBITDA	2,072	6,922	2,051	-1.0%	25.8%	7,940
マージン	30.7%	24.2%	30.2%	-	-	27.3%

	08.3期		09.3期(予)	
	1Q		1Q	
契約数(千)	28,709	30,339	30,305	31,600
内モジュール系	736	814	841	1,000
au 計	28,110	30,105	30,305	31,600
WIN(EV-DO)	15,753	19,695	20,473	24,000
1X	11,805	9,993	9,444	-
cdmaOne	552	417	389	-
ツーカー(PDC)	600	234	0	0

(参考) 移動通信事業の営業利益

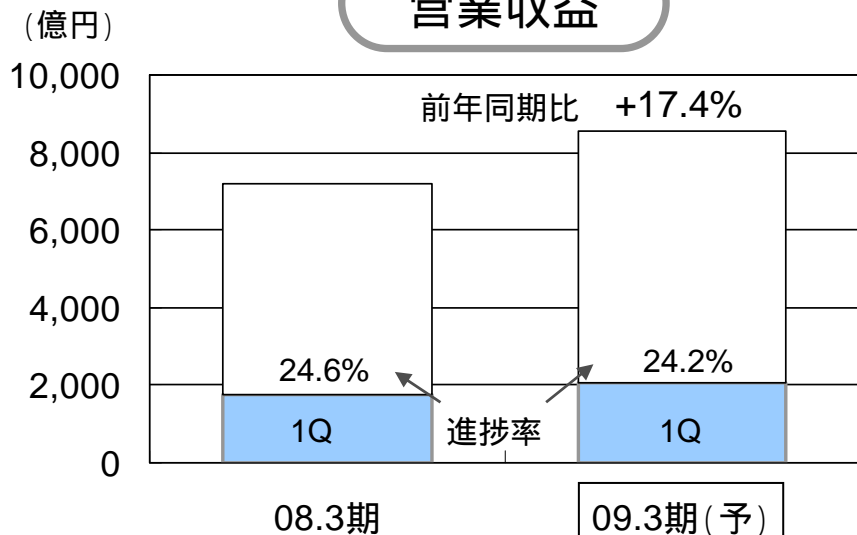
1Qは主に減価償却費と販売手数料の増加により、前年同期比で減益。

営業利益 前年同期比増減要因

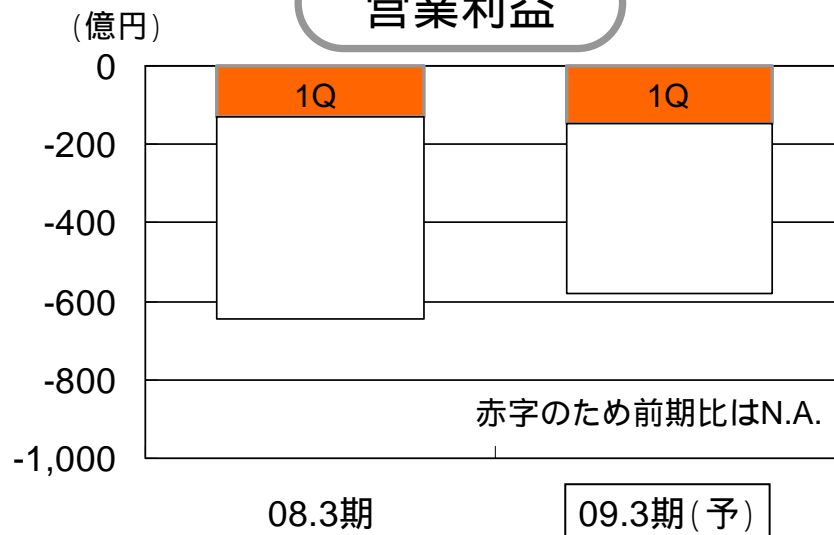


4. 固定通信事業

営業収益



営業利益



	08.3期		09.3期(予)			(億円)
	1Q		1Q	前年同期比	進捗率	
営業収益	1,765	7,186	2,072	17.4%	24.2%	8,550
営業利益	-131	-647	-149	-	-	-580
マージン	-7.4%	-9.0%	-7.2%	-	-	-6.8%
経常利益	-128	-648	-158	-	-	-620
当期純利益	-74	-517	-98	-	-	-380
FCF	-85	-539	-531	-	-	-1,170
EBITDA	153	581	178	16.3%	21.9%	810
マージン	8.7%	8.1%	8.6%	-	-	9.5%

契約数	(千)	08.3期		09.3期(予)	
		1Q		1Q	
ADSL		1,495	1,396	1,347	1,280
FTTH		635	710	916	1,140
メタルプラス		3,010	3,279	3,269	3,080
ケーブルプラス電話		-	286	355	580
ケーブルテレビ		-	667	683	700

(再掲)固定系アクセス回線		08.3期	09.3期(予)
		4,827	5,082

(注1) ADSL one(メタルプラス利用時のADSL)を含む。

(注2) ケーブルテレビ契約数は放送、インターネット、電話のうち、一つでも契約のある世帯数。

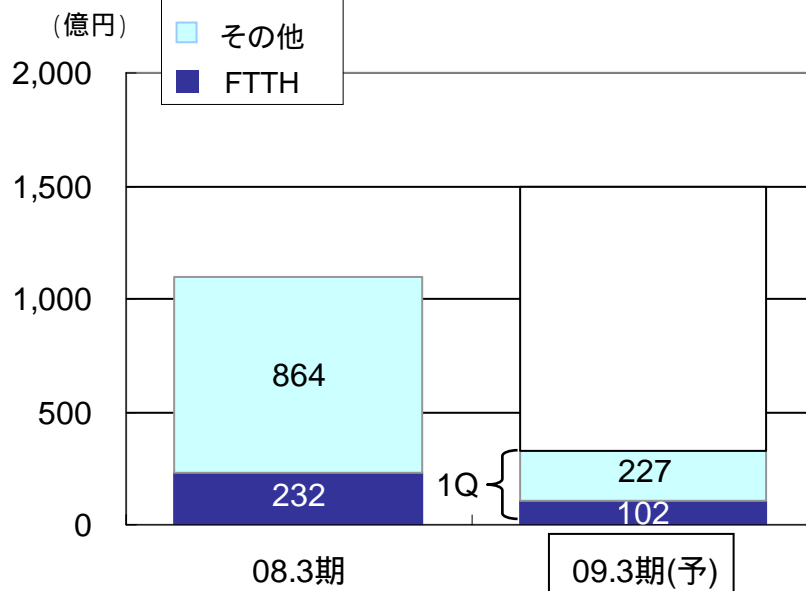
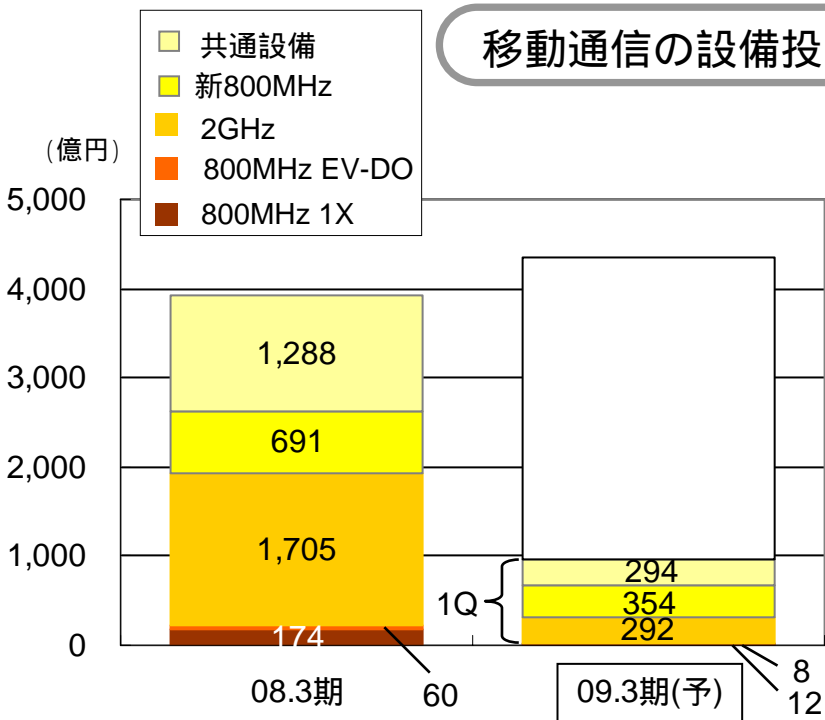
(注3) 固定系アクセス回線はFTTH、直収電話(メタルプラス、ケーブルプラス電話)、ケーブルテレビのアクセス回線で重複を除く。

(注4) 09.3期は、連結子会社のCTC、及び、従来「その他セグメント」に含まれていたJCNグループと海外固定系子会社を含めている。

5. 設備投資

移动通信の設備投資

固定通信の設備投資



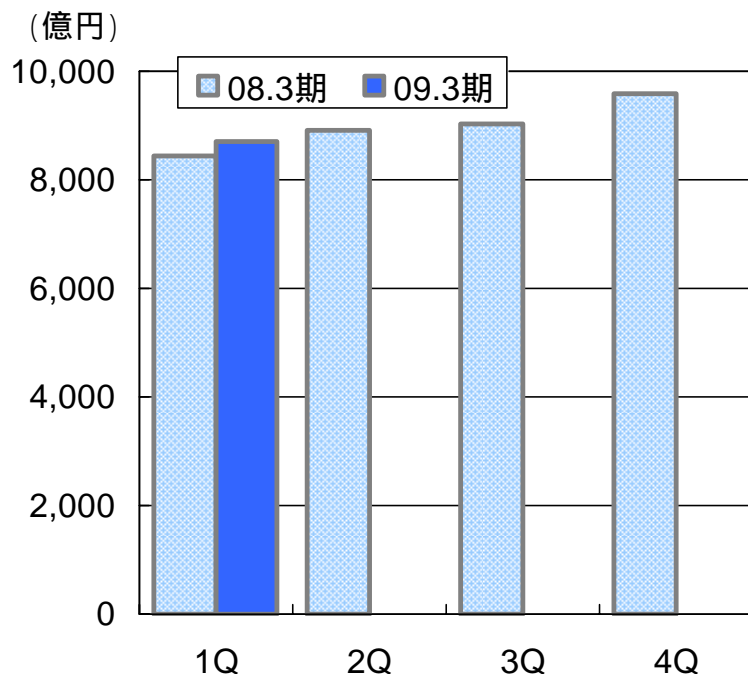
(億円)

		08.3期		09.3期(予)			
		1Q		1Q	前年同期比	進捗率	
設備投資(支払)	連結	888	5,170	1,300	46.4%	22.0%	5,900
	移动通信	610	3,917	960	57.5%	22.0%	4,360
	固定通信	245	1,096	329	34.3%	21.9%	1,500

(参考) 業績の四半期推移

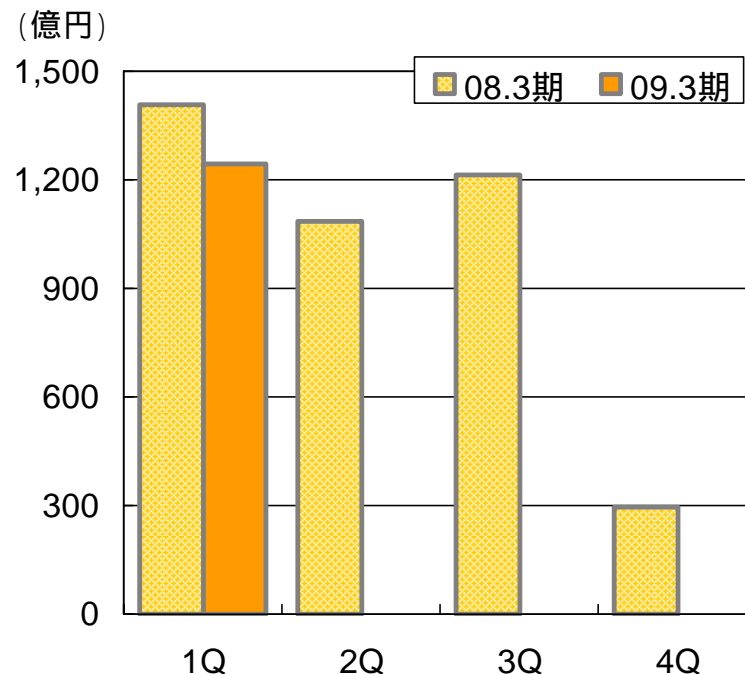
第2四半期以降、移動通信事業における販売手数料などの削減を見込む。
その結果、四半期ごとの営業利益は従来とは異なり安定的な進捗を想定。

連結営業収益



	08.3期	09.3期(予)	前期比
通期	35,963億円	37,000億円	+2.9%

連結営業利益



	08.3期	09.3期(予)	前期比
通期	4,005億円	4,430億円	+10.6%

各事業の状況



移動通信事業



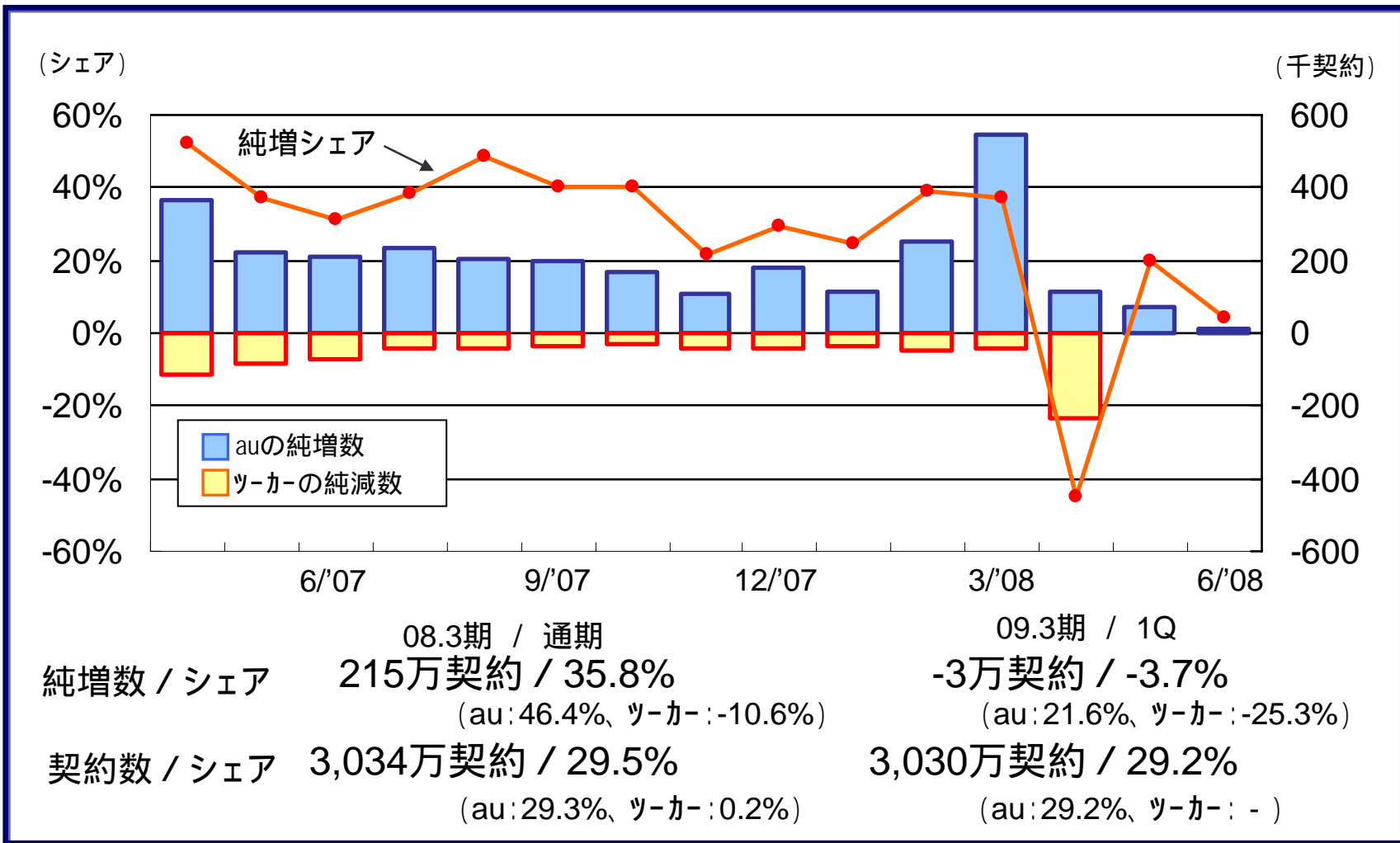
固定通信事業



その他のトピック

1.1. KDDIの純増

4月のツーカー純減(-23万)もあり、KDDIの1Qは3万の純減。
 6月末の契約数は3,030万、シェア29.2%。

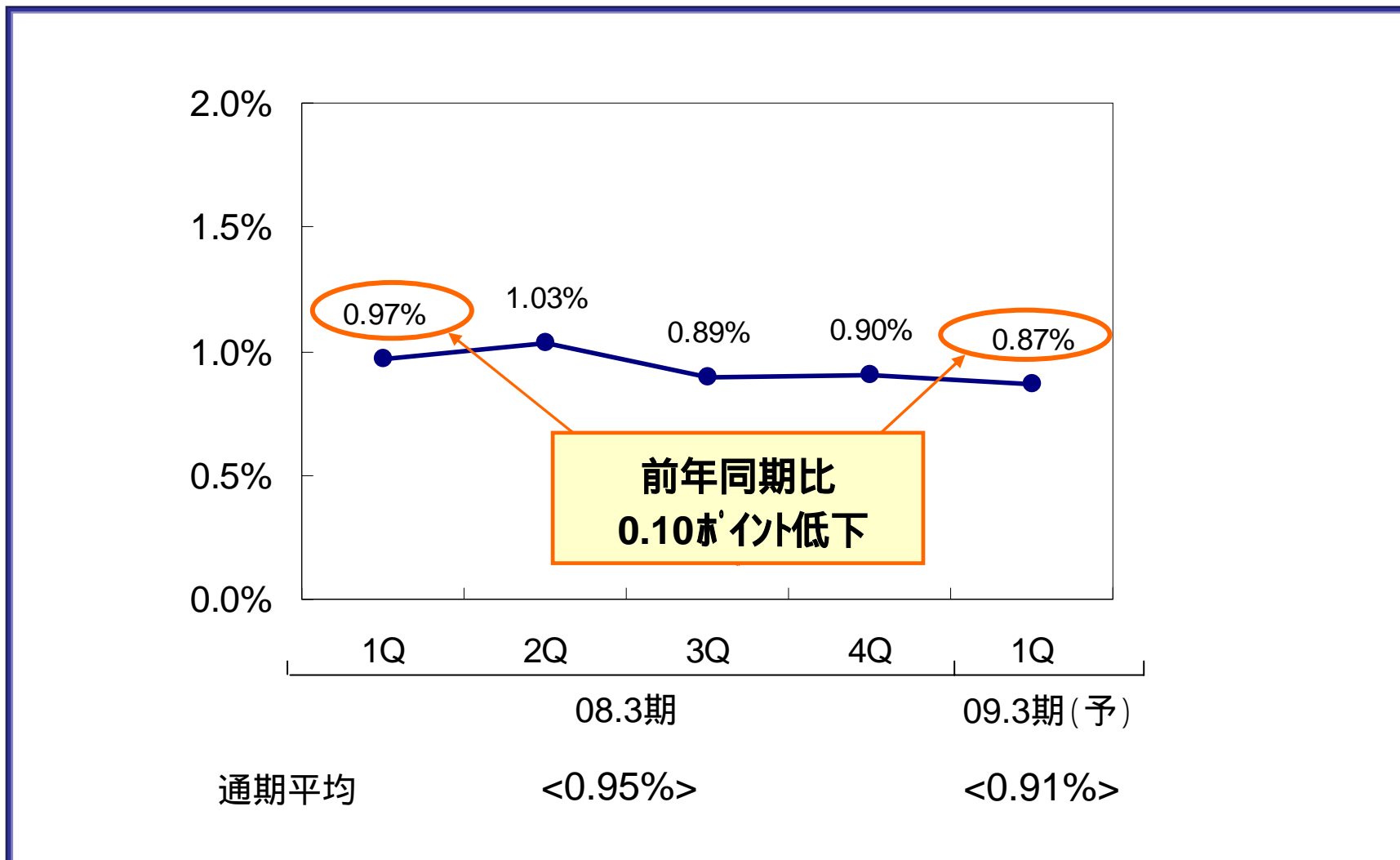


(注1)イー・モバイルの月次の純増シェアについては07年12月まではグラフ上含めず。

(注2)ツーカーは2008年3月末にサービス終了。

1.2. auの解約率

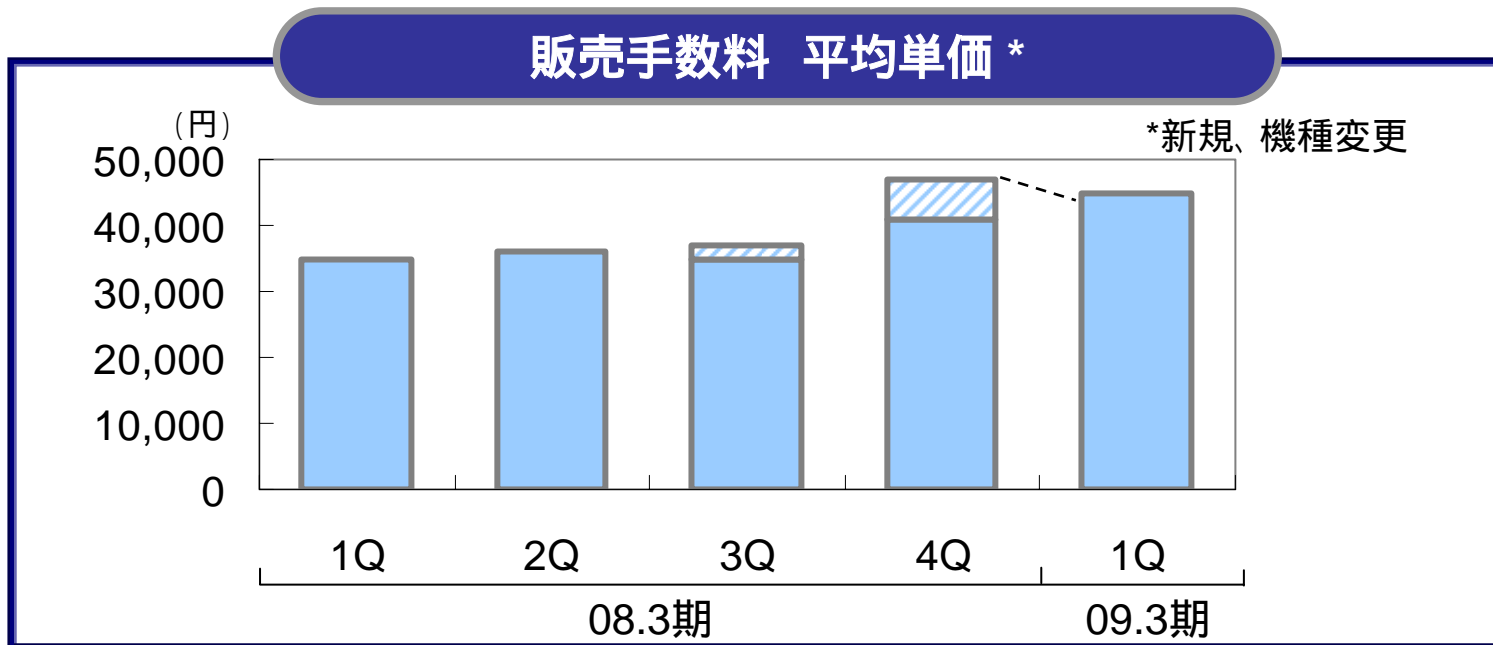
1Qの解約率は0.87%と、前年同期比0.10ポイント低下。



(注) 解約率はモジュール系を除く。

1.3. auの販売手数料

1Qの販売手数料平均単価は、45,000円。

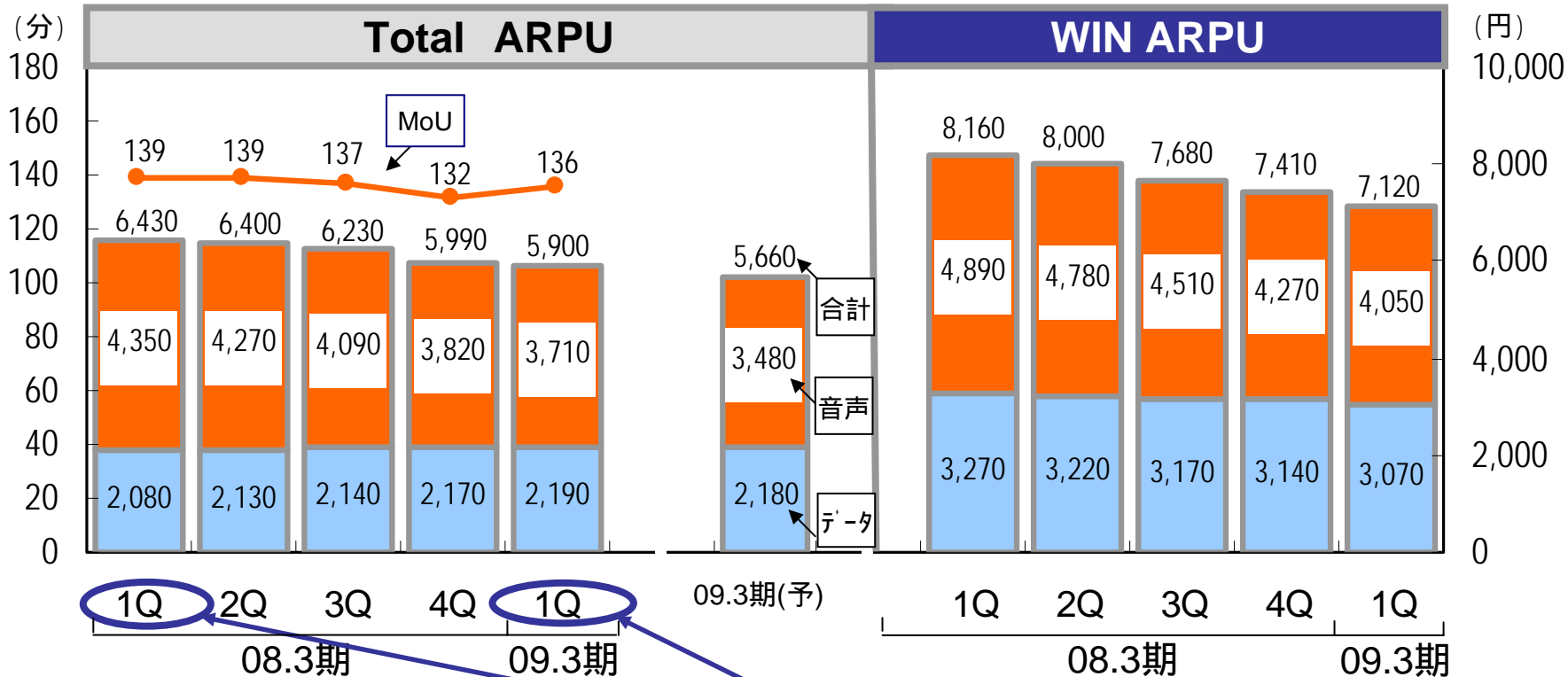


	08.3期				5,860	09.3期(予)	
	1Q	2Q	3Q	4Q		1Q	
販売手数料総額 (億円)	1,240	1,490	1,300	1,830		1,290	-
販売手数料平均単価 (円)	35,000	36,000	35,000	41,000	37,000	45,000	-
販売台数 (万台)	353	408	370	451	1,582	286	1,440

(注) 販売手数料平均単価については、08.3月期 3Qの「au買い方セレクト」導入以降、端末販売に係る粗利増加相当分(グラフ斜線部分)を控除して計算していたが、2009年3月期からは控除しないベースで計算。

1.4. auのARPU

引き続きデータARPUは堅調に推移。



通期平均	08.3期	09.3期(予)
合計	6,260円	5,660円
うち 音声	4,130円	3,480円
データ	2,130円	2,180円

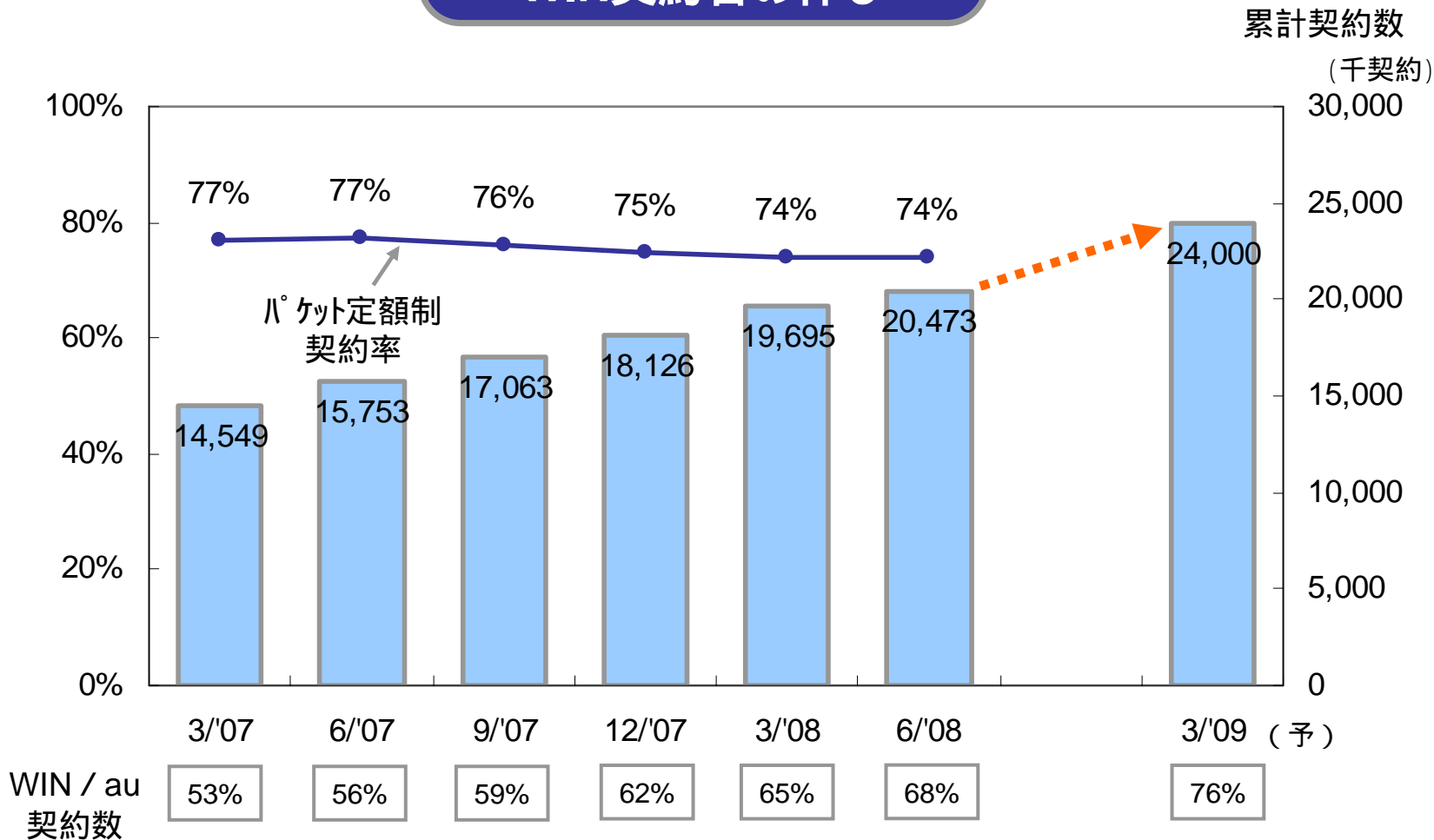
前年同期比	
合計	530円 (8.2%)
うち 音声	640円 (14.7%)
データ	+ 110円 (+ 5.3%)

1.5. WINの状況

6月末時点でWINの契約数の割合はau全体の68%に増加、
うち、パケット定額制の契約率は74%と引続き高水準。



WIN契約者の伸び



2.1. au買い方セレクト(新シンプルプラン・分割払いの導入)

より幅広いお客さまのニーズに応えるため、6月10日より「au買い方セレクト」の「シンプルコース」を拡充し、新シンプルプラン(料金)ならびに端末の分割払いを導入。

au買い方セレクト

(料金は税込)

コース名	シンプルコース ^{注1}	フルサポートコース
購入サポート (端末補助金)	なし	あり(21,000円)
端末利用期間契約	なし (分割払いの支払いは必要)	2年
料金プラン	プランSSシンプル~LLシンプル他	プランSS~LL他
月額基本料 ^{注2} (最安プランSSの場合)	980円/月 (無料通話1,050円)	1,890円/月 (無料通話1,050円)
分割払い	あり(12回/24回)	なし

(注1)6月10日開始の新シンプルプランの場合。

(注2)誰でも割ご契約時の基本料金。

新シンプルプラン/分割払いの特長

- 両コースの比較が簡単で、お客様のニーズに合ったコース選択が容易。
- 分割払い利用による高機能端末購入時の初期負担の軽減。

2.2. au買い方セレクト (新シンプルプラン・分割払いの導入)

62%のお客さまがシンプルコースを選択。高機能端末の購入時にはシンプルコースの選択がさらに高い傾向に。

シンプルコース選択のお客さまのうち、92%が分割払いを選択。

コースの選択

フルサポートコース

38%

62%

シンプルコース

シンプルコースでの支払方法

一括払い

8%

92%

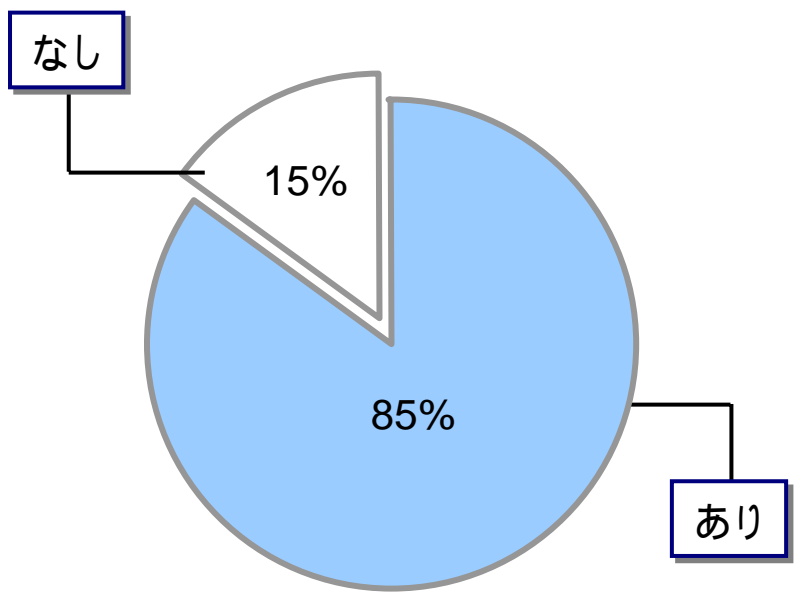
分割払い

(注) W61Sおよび08夏モデルの計6機種 of 6月10日～6月30日までの端末販売数が対象。

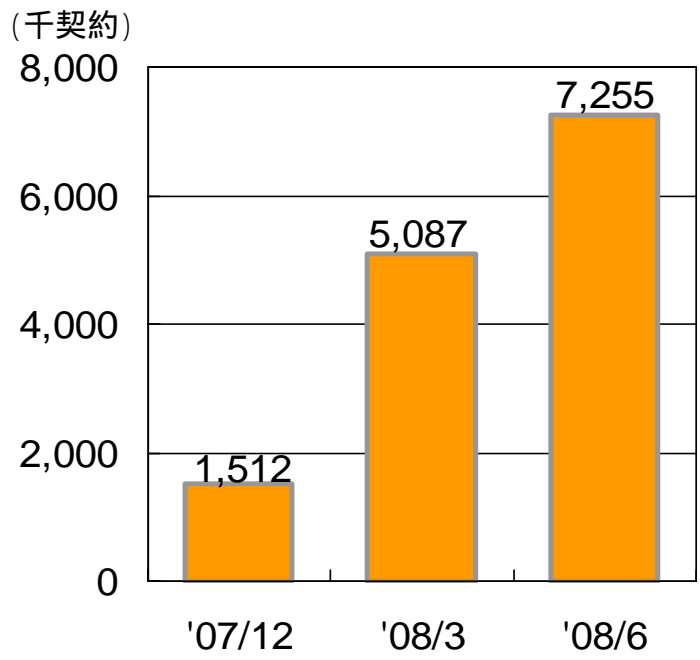
3. 安心ケータイサポート

端末購入時における「安心ケータイサポート^{注1}」(月額税込:315円)の契約申込は85%。
 本サービスの6月末契約数は726万。昨年11月の導入以降、順調に増加しており、
 新たな収入機会を創出。

安心ケータイサポートの契約状況 ^{注2}



安心ケータイサポートの契約数



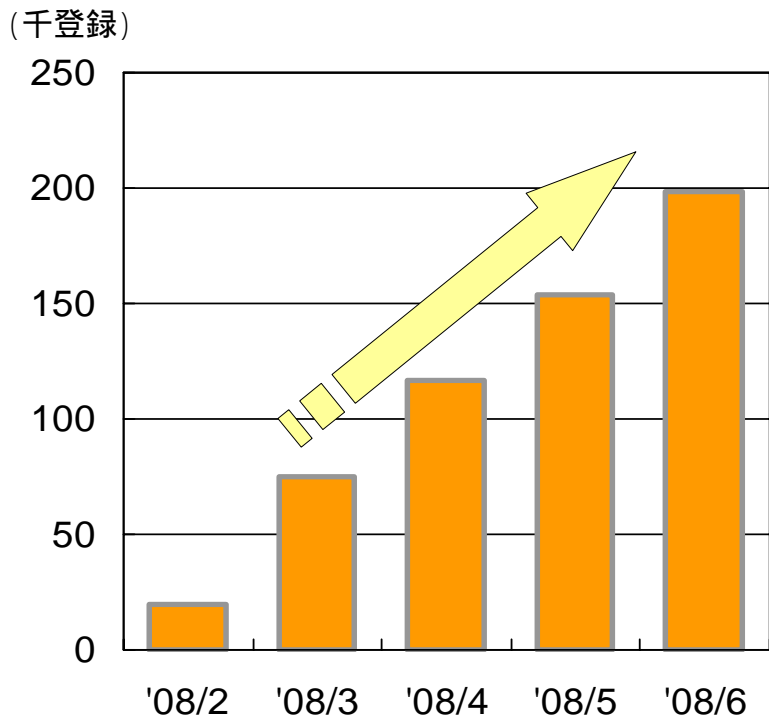
(注1)5年保証サービス、修理代金割引サービス、水漏れ・全損時リニューアルサービス、紛失時あんしんサービス、
 電池パック無料サービス、無事故ポイントバックサービス。

(注2)4月1日～6月30日の間に、シンプルコース及びフルサポートコースのご契約をいただいたお客さま総数に対する割合。

4. コンテンツ利用の拡大

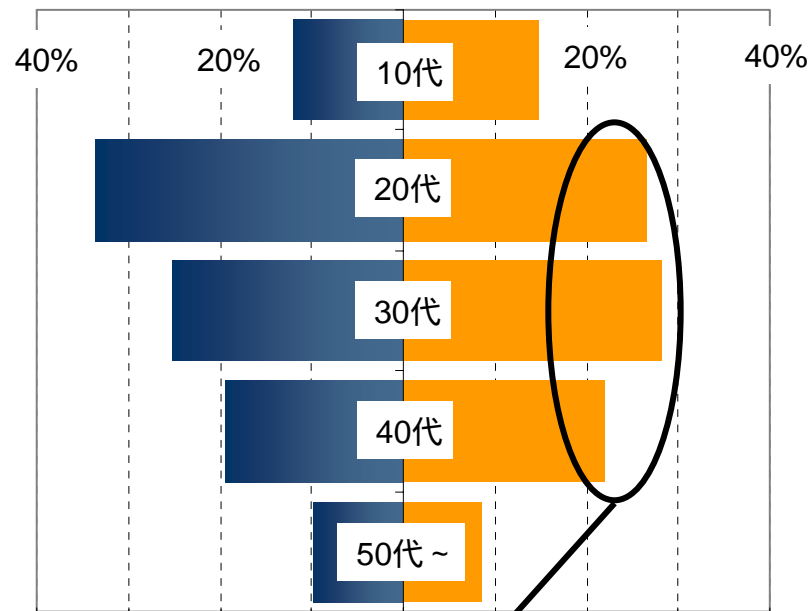
「au Smart Sports Run&Walk」(2008年1月末サービス開始)の登録数は約20万と順調に増加。アディダス ジャパン株式会社とのパートナーシップなど他社との連携により、イメージの強化やライフスタイルに合わせたサービス提供を行い、コンテンツ利用者層の拡大を図る。

au Smart Sports Run&Walk
 登録数



au Smart Sports Run&Walk
 利用者層

EZ「着うたフル®」 au Smart Sports Run&Walk



20代~40代の幅広い層が利用

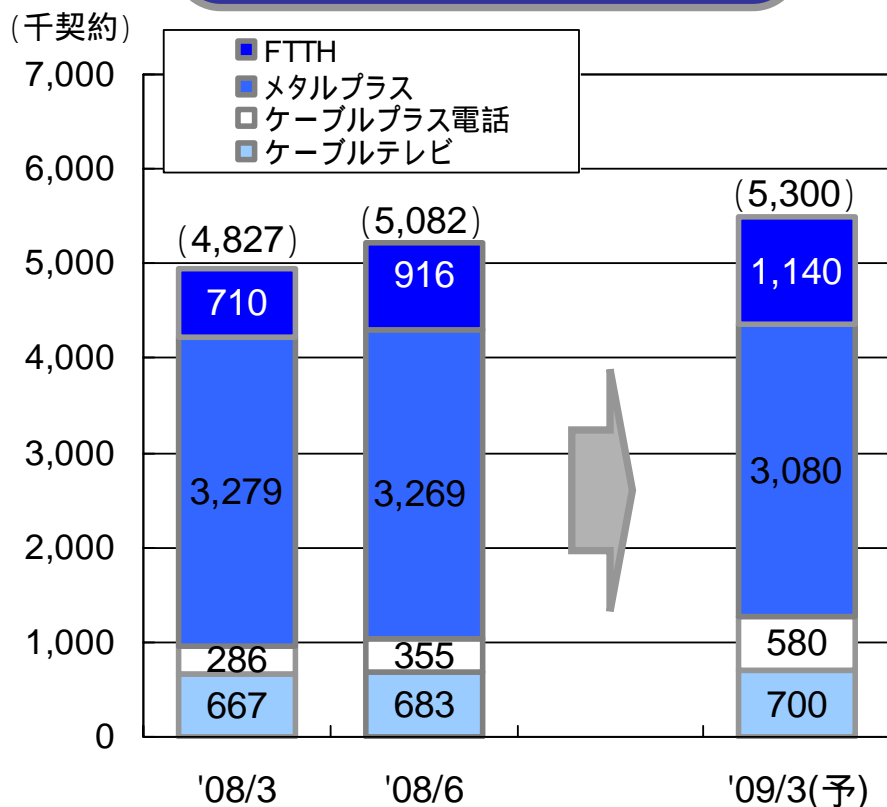
(注)利用者層の分布は、コンシューマを中心とした2008年6月単月の利用状況より抽出。

1. 固定系アクセス回線

6月末の固定系アクセス回線数は508万。

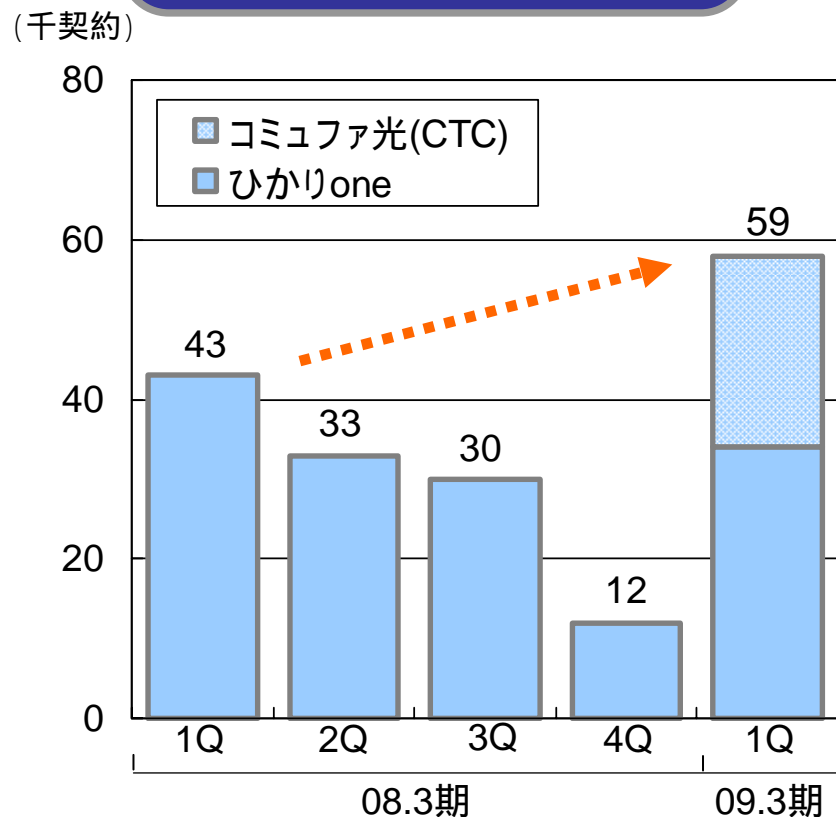
4月1日付でのCTCの連結子会社化の影響もあり、今期1QでのFTTH純増数は前年同期比においても、堅調な伸びを示す。

固定系アクセス回線数^{注1}



(注1) ()は各アクセス回線数の合計値で重複を除く。

FTTHの純増状況^{注2}



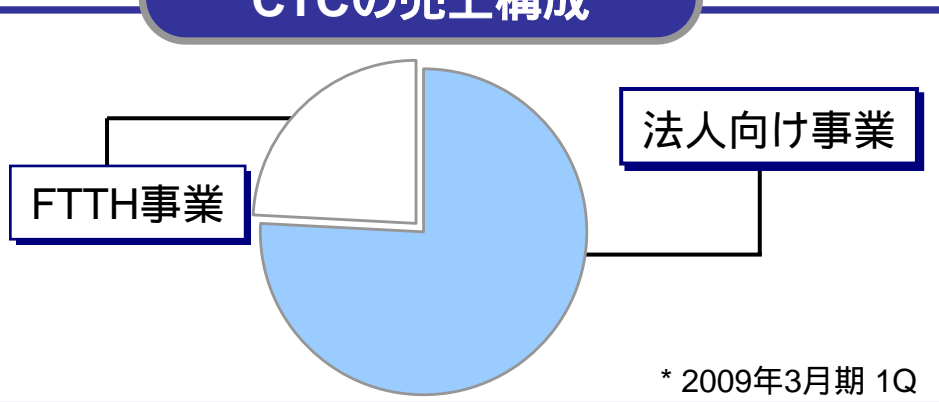
(注2) コミュファ光(CTC)の純増には08.3期末の累計契約数147千は含めていない。

2. 中部地区での法人向け事業の強化

事業連携を加速し、中部地区における法人事業の売上拡大を目指す。

CTCの商品力をKDDIサービスにより強化し、グループ総合力を活かした営業を展開。

CTCの売上構成



CTC・KDDIの法人サービスに対する評価

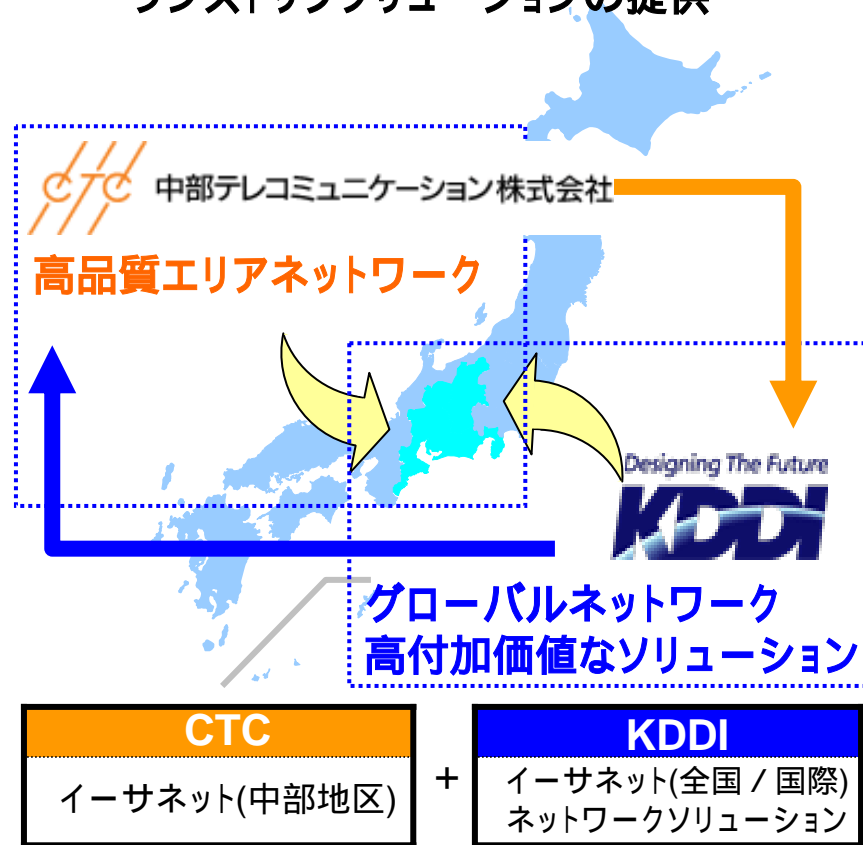
- CTC** J.D.パワー「WANサービス顧客満足度調査」
2年連続第1位(06～07年)
- KDDI** 日経コンピュータ顧客満足度調査
「ネットワーク・サービス部門(新型)」第1位(07年)

今後の検討課題

データセンター事業の共同展開

中部地区における連携強化

中部地区からグローバルレベルまでの
ワンストップソリューションの提供



(出典) J.D. パワーアジア・パシフィック2007年日本WANサービス顧客満足度調査SM
 (出典) 日経コンピュータ2007年8月20日号 第12回顧客満足度調査

1.1. モバイルネット金融事業の展開

株式会社三菱東京UFJ銀行と共同で、携帯電話の特長を最大限に活かしたモバイルネット金融事業を新たに展開。同行との共同設立会社である「株式会社じぶん銀行」は、金融庁より、6月17日に銀行営業免許を取得、7月17日にお客さま向けサービス開始。

会社概要

- 【商号】 株式会社じぶん銀行
- 【資本金】 200億円
- 【株主】 KDDI株式会社(50%)
 株式会社三菱東京UFJ銀行(50%)

事業計画

	3期目(2010年度)	5期目(2012年度)
口座数	240万口座	340万口座
預金量	1兆円程度	1兆5千億円程度
収益	単年損益黒字化	累積損失解消

事業モデル

携帯電話を通じて、利便性とセキュリティを両立するサービスを提供。ケータイならではの特徴的なサービスや高金利、低手数料により競争力確保。

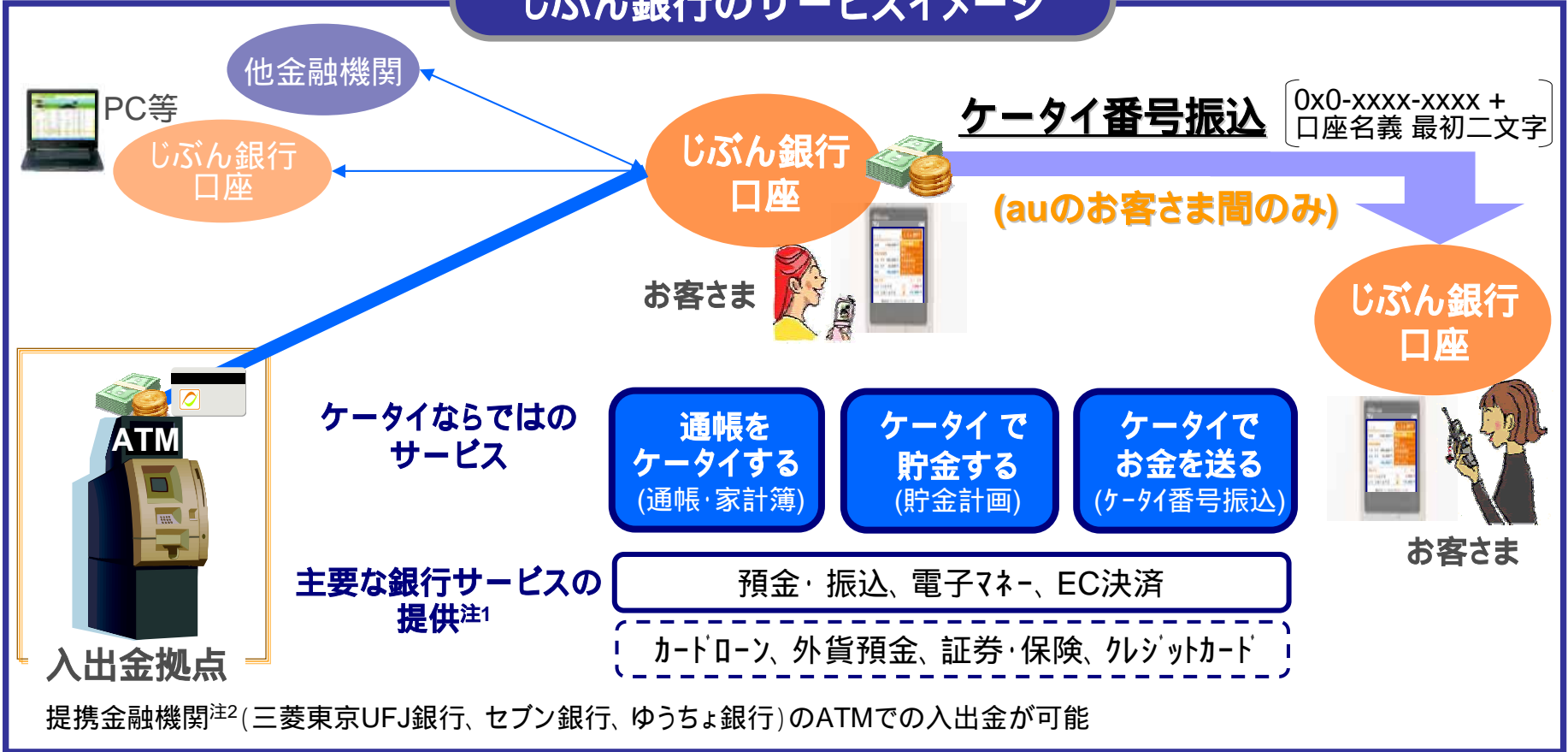
親会社の豊富な資源(顧客・ブランド・営業力・プロモーション力)を活用し、顧客基盤を早期に確立。

1.2. モバイルネット金融事業の展開

コンセプトは「携帯電話に銀行をビルトイン」。主要な金融サービスがいつでもどこでも簡単・安全に利用可能。

専用アプリを通じ、auのお客さま間での「ケータイ番号振込」など使い勝手の良さを追求することで、auの魅力化・お客さま満足度向上に貢献。

じぶん銀行のサービスイメージ



(注1) 7/17サービス開始時点では実線枠内のサービスを提供。(注2) 7月時点での提携先。

